



2025年4月30日

各位

会社名 日本精化株式会社
代表者名 代表取締役 矢野浩史
執行役員社長
(コード番号4362 東証プライム市場)
問合せ先 人事部長 西尾拓也
(TEL. 06-6201-7230)

取締役・監査役候補者に関するお知らせ

当社は、指名報酬委員会の答申を受け、本日開催の取締役会において、下記の通り取締役候補者及び監査役候補者を内定しましたのでお知らせいたします。なお、本件は2025年6月24日開催予定の第157回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 取締役候補者（※印は再任候補者）

2025年6月24日付

氏名	【新 職】	【現 職】
矢野 浩史 ※	代表取締役執行役員社長	代表取締役執行役員社長
(選考理由) 2010年に執行役員就任後、取締役執行役員を経て、2020年から代表取締役執行役員社長に就任し、当社の経営全般の指揮および監督を通じて当社のガバナンス体制の強化に取り組んでいます。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。		
川林 正信 ※	取締役常務執行役員	取締役常務執行役員
(選考理由) 2008年に執行役員就任後、取締役執行役員を経て、2015年から取締役常務執行役員に就任し、生産技術部門を統括するとともに、取締役として、これまで培った知識や経験を当社の経営全般に反映させてきました。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。		
大橋 幸浩 ※	取締役常務執行役員	取締役常務執行役員
(選考理由) 2008年に執行役員就任後、取締役執行役員、取締役上席執行役員を経て、2024年に取締役常務執行役員に就任し、研究開発部門を統括するとともに、取締役としてこれまで培った知識や経験を当社の経営全般に反映させてきました。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。		
太田 進 ※	社外取締役	社外取締役
(選考理由) 企業経営について豊富な知識と経験を有しており、当社の経営について長期的な展望や当社の従前の発想とは異なった視点から適切な意見をいただけるとともに、高い独立性をもって取締役会の監督機能の強化に努めていただくことを期待役割として引き続き社外取締役候補者いたしました。		

松若 恵理子 ※	社外取締役	社外取締役
<p>(選考理由) 公認会計士として企業会計に精通するとともに、企業経営について豊富な知識と経験を有しており、当社の経営について長期的な展望や当社の従前の発想とは異なった視点から適切な意見をいただけるとともに、高い独立性をもって取締役会の監督機能の強化に努めていただくことを期待役割として引き続き社外取締役候補者といたしました。</p>		

2. 監査役候補者 (※印は再任候補者)

2025年6月24日付

氏 名	役 職
三築 正典 (みつ き まさのり) ※	常勤監査役
<p>(選考理由) 2017年に常勤監査役就任後、当社業務に対する豊富な知識と経験を活かし、現場実査に基づく的確な提言を行うなど、監査の実効性向上に努めてきました。これらの豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かすことが期待できると判断し、引き続き常勤監査役候補者といたしました。</p>	
益田 哲生 (ますだ てつお) ※	社外監査役
<p>(選考理由) 弁護士として独立性・中立性を持った立場から取締役の監督および的確な助言、提言を行っていただいております。これまで培われた豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かしていただくことを期待役割として、引き続き社外監査役候補者といたしました。</p>	
鈴木 一史 (すずき かずふみ) ※	社外監査役
<p>(選考理由) 経営者としての立場から取締役の監督および的確な助言、提言を行っていただいております。これまで培われた豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かしていただくことを期待役割として、引き続き社外監査役候補者といたしました。</p>	

以上

<ご参考>

2025年6月開催予定の定時株主総会終了後の経営体制は以下の通りです。

(氏名の後の※印は、定時株主総会における取締役・監査役選任議案の候補者となります。)

氏 名	役 職
矢野 浩史 (やの ひろし) ※	代表取締役執行役員社長
(選任理由) 2010年に執行役員就任後、取締役執行役員を経て、2020年から代表取締役執行役員社長に就任し、当社の経営全般の指揮および監督を通じて当社のガバナンス体制の強化に取り組んでいます。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。	
川林 正信 (かわばやし まさのぶ) ※	取締役常務執行役員
(選任理由) 2008年に執行役員就任後、取締役執行役員を経て、2015年から取締役常務執行役員に就任し、生産技術部門を統括するとともに、取締役として、これまで培った知識や経験を当社の経営全般に反映させてきました。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。	
大橋 幸浩 (おおはし ゆきひろ) ※	取締役常務執行役員
(選任理由) 2008年に執行役員就任後、取締役執行役員、取締役上席執行役員を経て、2024年に取締役常務執行役員に就任し、研究開発部門を統括するとともに、取締役としてこれまで培った知識や経験を当社の経営全般に反映させてきました。これらの豊富な経験と事業全般に関する高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。	
太田 進 (おおた すずむ) ※	社外取締役
(選任理由) 企業経営について豊富な知識と経験を有しており、当社の経営について長期的な展望や当社の従前の発想とは異なった視点から適切な意見をいただけるとともに、高い独立性をもって取締役会の監督機能の強化に努めていただくことを期待役割として引き続き社外取締役候補者いたしました。	
松若 恵理子 (まつわか えりこ) ※	社外取締役
(選任理由) 公認会計士として企業会計に精通するとともに、企業経営について豊富な知識と経験を有しており、当社の経営について長期的な展望や当社の従前の発想とは異なった視点から適切な意見をいただけるとともに、高い独立性をもって取締役会の監督機能の強化に努めていただくことを期待役割として引き続き社外取締役候補者いたしました。	
堀江 清 (ほりえ きよし)	常勤監査役
2011年に常勤監査役就任後、当社業務に対する豊富な知識と経験を活かし、現場実査に基づく的確な提言を行うなど、監査の実効性向上に努めており、現在、2023年6月開催の定時株主総会の終結の時から4年間の任期中となります。	
三築 正典 (みつき まさのり) ※	常勤監査役
(選任理由) 2017年に常勤監査役就任後、当社業務に対する豊富な知識と経験を活かし、現場実査に基づく的確な提言を行うなど、監査の実効性向上に努めてきました。これらの豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かすことが期待できると判断し、引き続き常勤監査役候補者いたしました。	

益田 哲生（ますだ てつお）※	社外監査役
（選任理由）弁護士として独立性・中立性を持った立場から取締役の監督および的確な助言、提言を行っていただいております。これまで培われた豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かしていただくことを期待役割として、引き続き社外監査役候補者といたしました。	
鈴木 一史（すずき かずふみ）※	社外監査役
（選任理由）経営者としての立場から取締役の監督および的確な助言、提言を行っていただいております。これまで培われた豊富な経験と幅広い見識を当社のガバナンス強化に活かしていただくことを期待役割として、引き続き社外監査役候補者といたしました。	
山崎 晋（やまさき すすむ）	上席執行役員
（選任理由）入社以来、営業、マーケティング等の業務に従事し、2018年執行役員、2021年に上席執行役員に就任し管理本部長兼事業戦略室統括兼サステナビリティ推進統括、2023年4月からは営業本部長として、当該部門の成長・拡大に取り組んできました。これらの経験と執行領域における高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き上席執行役員といたしました。	
新村 明寛（にいむら あきひろ）	上席執行役員
（選任理由）入社以来、営業等の業務に従事し、2020年執行役員に就任し香粧品事業本部副本部長（営業統括）、2023年からは上席執行役員に就任し管理本部長兼サステナビリティ推進統括として、当該部門の成長・拡大に取り組んできました。これらの経験と執行領域における高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き上席執行役員といたしました。	
松本 正樹（まつもと まさき）	上席執行役員
（選任理由）入社以来、研究開発の業務に従事し、2022年執行役員、2023年からは上席執行役員に就任し、リピッド事業本部長として、当該事業部門の成長・拡大に取り組んできました。これらの経験と執行領域における高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き上席執行役員といたしました。	
岩本 豊（いわもと ゆたか）	上席執行役員
（選任理由）入社以来、生産、生産管理の業務に従事し、2023年執行役員、2024年からは上席執行役員に就任し、生産技術本部長兼リピッド製造技術部統括として、安定生産へ寄与するとともに当該部門の成長に取り組んできました。これらの経験と執行領域における高度な見識をもとに、当社の持続的な企業価値向上に寄与することが期待できると判断し、引き続き上席執行役員といたしました。	

以上